

第十師團命令 三十七年五月十五日午後五時

一、大孤山附近ニテ敵ハ折木城方向ニ退却シ岫巖ニハ

微弱ナル騎兵アルモノ如シ

九連城附近ニ於テ第一軍ノ為メ撃破セラレシ敵ノ大部

ハ連山関及摩天嶺ノ間ニ在リテ防禦工事ヲ施シツアリ

又其一部ハ靈陽邊門及寒馬集附近ニ在リ

二、師團ノ第一梯團ハ明後十九日より東ノシグリス岫西南端

附近ニ於テ上陸セントス

第一軍ノ主力ハ鳳凰城附近又其一部ハ寬甸縣附近

ヲ占領セリ

第二軍ハ主力ヲ以テ普蘭店大砂河線ヲ占領シ

第一師團ヲ金州ニ向テ前進セシムルヲ旨ナリ

三、各部隊ノ上陸順序別表ノ如シ

但十九日ニ上陸スギ工兵中隊ノ行李其戰鬥負

ト共ニ上陸スルモノトス

四、上陸セシ諸部隊ハ速ニ李家屯東方地區ニ集合
スヘシ

五、定規携帶ノ外更ニ各自携帶口糧(糲)罐詰肉食
塩(三日分)ヲ携帶スヘシ

六、予ハ十九日上陸シ李家屯ニ至ル

川村第十師團長

陸戰隊ハ銃隊一中隊及砲隊一小隊砲二門ヨリ成ルヲ以テ編成シ掩護艦隊トシテ裝砲汽艇ニ隻ヲ附ス



砲 隊

隊

第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	第五隊	第六隊	第七隊	第八隊	第九隊	第十隊
小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長
海軍少尉 內正治									
海軍少尉 中村淳一									
海軍少尉 原田次郎									
准士官以上四	下士官十一	兵二十八	砲台長	信號兵	砲車	砲車	砲車	砲車	砲車
海軍少尉 岡田政次郎									
海軍少尉 野口克己									
海軍少尉 兵曹一八									

隊 屬 附												小計						
衛生部			擔架隊			豫備彈藥隊			工作隊									
治療部 輸卒	附		軍醫長 海軍大尉 中村保	列兵	分隊下士	擔架	列兵	分隊下士	豫備小銃彈藥 八百發入一箱	列兵	分隊下士							
	信號兵	看護																
	三	一											四	一	四	一	三	一
	一	一											四	一	四	一	三	
	一	一											四	一	四	一	三	
				當砲兵曹一				當砲兵曹一	全上									
				四					全上									
				四					全上									
				四					全上									

合 計	輸送指揮官	部與	
		主計長	海軍主計長
小計	准士官以上二 下士官六四	所	石井文作
		尉主尉一	尉主尉一
合 計	准士官以上九 下士官二〇六	尉主尉一	尉主尉一
		尉主尉一	尉主尉一
輸送指揮官	早田四郎	尉主尉一	尉主尉一
		尉主尉一	尉主尉一

掩護隊、扶桑平遠、装砲汽艇一隻宛、以テ編制
 送指揮官海軍少尉平田四郎、兼務トス



第十師團命令

於鎮南嶺午後五時

一、大孤山附近ニテ敵、折木城方向退却ニ由、岨敵ニハ

微弱ナル騎兵アルモノ、如シ

九連城附近ニ於テ第一軍ノ為メ、擊破セラルコト敵ノ大部

ハ連山関及摩天嶺間ニ在リテ防禦工事ヲ施シツアリ

又其一部ハ靈陽邊門及賽馬集附近ニ在リ

二、師團ノ第一梯團明後十九日より東ウシグリス岬西南端

附近ニ於テ上陸セントス

第一軍ノ主力ハ鳳凰城附近又其一部ハ寬甸縣附近

ヲ占領セリ

第二軍ハ主力ヲ以テ普蘭店大砂河線ヲ占領シ

第一師團ヲ金州ニ向テ前進セシムル旨ナリ

三、各部隊ノ上陸順序別表ノ如シ

但十九日ニ上陸スキ工兵中隊ノ行李其戰鬥負

ト共ニ上陸スルモノトス

四、上陸セシ諸部隊ハ速カニ李家屯東方地區ニ集合
スヘシ

五、定規携帶ノ外更ニ各自携帶口糧(糲、罐詰肉、食
塩)三日分ヲ携帶スヘシ

六、予ハ十九日上陸シ李家屯ニ至ル

川村第十師團長

第一梯團上陸順序表

上陸点		南尖澳附近	
上陸日次	十九日	南尖澳附近	
	二十日以後	南尖澳附近	
		工兵大隊本部及第一中隊	騎兵第三中隊
		補助輸卒	砲兵第三中隊
		師團司令部一部	工兵第一中隊
		歩兵第二聯隊司令部	補助輸卒
		歩兵第二聯隊	師團司令部大部
		歩兵第三十九聯隊第一中隊	砲兵、工兵隊、行李
		砲兵第一大隊本部及第一中隊	聯隊段列三分の一

備考

一、上陸順序ハ概畧ヲ示スニ過キルヲ以テ情况ニ依リ多少変更スルコトアルベシ
 二、南尖澳ヨリテ上陸点トスモ更ニ偵察ノ結果ニ依リ猶他ノ地點ヲ併用スルコトアルヘシ

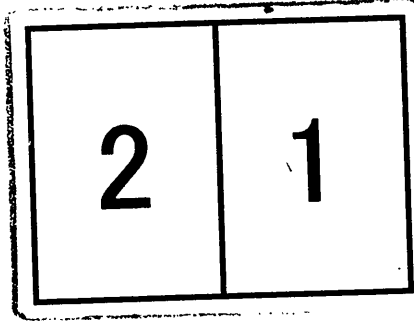
第十師團 船舶輸送配船表

乗船地 神戸

船名	船種	人員	食料	馬匹	日数
北陸	三三八〇	三二二	六七六	一〇	日一
勝山	一七七〇	一四五	三六七	一三六	日一
薩摩	一〇三五	二五二	三三三	三〇	日一
韓崎	三三九一	七二七	二七二	四〇	日一
末廣	四五一	二二六	三〇六	三三	日一
江陽	四四六	二七六	三三六	四四	日一
小雛	三〇〇	一九	九八一	六六	日一
關東	五七一〇	九六九	一五三	一五一	日二
敦賀	一〇二〇	五五五	一〇〇	二〇	日二
天津	五〇〇	二二五	一〇〇	二〇	日二
札幌	一五九	三三	一六〇	八九	日二
五箇首	一五二六	二五六	四七八	三三	日七
古倫母	三〇〇〇	一九三	二六二	七〇	日七
佐渡	六三三	四二五	九一五	一三三	日十
高樫	三〇〇〇	二二五	九一五	一三三	日十
備後	六三三	二二五	九一五	一三三	日十
河内	六〇九六	二二〇	七九六	一四九	日十
備考	一〇〇	二二〇	七九六	一四九	日十

備考 一、船名、景況ヨリテ碇泊場司令部ニテ多少配船ヲ變更スルコトアリ

分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文 書 等 名	船舶輸送配船予定表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

江陽	末廣	韓崎	加賀	常陸	伊豫	小離	天津	北陸	船名	總噸數	速力	部	隊	人員	馬匹	馬匹計
一四四六	一四九	三二九	六三〇	六一七五	六三九	三〇〇	三〇〇	二三八	船名	總噸數	速力	部	隊	人員	馬匹	馬匹計
一〇	一〇	二一	二一	一二	一二	九	九	九	船名	總噸數	速力	部	隊	人員	馬匹	馬匹計
後備步兵第四十六聯隊第二大隊(三中隊)	後備步兵第四十六聯隊第八中隊	同 第一大隊第二第三第四中隊	兵站糧食一級列	後備步兵第四十六聯隊本部	同 第一大隊(一中隊)	近衛後備步兵第一聯隊本部	近衛後備步兵第二聯隊本部及第四中隊	近衛後備步兵第二聯隊第一中隊(三中隊)	近衛後備步兵第二聯隊第三中隊	糧食一級列	輜重監視隊 三隊	兵站彈藥一級列	近衛後備步兵第二聯隊第三中隊	糧食一級列	輜重監視隊 三隊	兵站彈藥一級列
五八	二八	二二	三六	一〇	二二	一〇	二二	二二	二二	三〇	一六	一四	二二	三〇	一六	一四
二八	二八	一〇三七	二七五	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七
四七	四四	二八	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七

0295
0296

北陸	天津	小離	伊豫	常陸	加賀	韓崎	市廣	江陽
二三八〇	三〇〇〇	三〇〇〇	六三一九	六二七五	六三〇一	三二九二	一四五九	一四四六
九	九	九	一二	一二	一二	一二	一〇	一〇
近衛後備步兵第二聯隊第三中隊 糧食一級列(小隊) 輜重監視隊 三隊	近衛後備步兵第二聯隊第一大隊(三中隊) 衛生隊備員 衛生隊備員 患者輸送部	近衛後備步兵第二聯隊本部及第四中隊 糧食一級列 野戰兵器廠	近衛後備步兵第一聯隊本部 同 第一大隊(一中隊) 糧食一級列	近衛後備步兵旅團司令部 同 步兵第一聯隊第四中隊 後備步兵第四十六聯隊第一大隊本部及第一中隊 糧食一級列(半級列)	第一軍兵站監補充 馬 廠	後備步兵第四十六聯隊本部 同 第一大隊第二第三第四中隊 兵站糧食一級列	後備步兵第四十六聯隊第八中隊 糧食一級列(小隊)	後備步兵第四十六聯隊第二大隊(三中隊)
二二二 三〇三 一六五	一九七 六六 二一	三六一 五八 二二二	七二四 三六一 一九	二二二 二八 一八八	一一三 八〇 一八八	一〇 六六六 三六一	二二二 五八 二八	二二二 五八 二八
三六六 二二一 一〇	七八六 一〇 一〇七	二七五 三 二八三	四七 二七五 三二七	四七 一四二 三二四	九七 二七 二七	一〇三七 二七五 二八	四四 四四 四七	四四 四四 四七

手書
手書

考 備	佐 渡	若 狭	高 雄	御 吉 野	同			其 二
					船 名	總 噸 數	速 力	
一、近衛後備諸隊ハ大孤山ニ上陸シ第一軍所在地ニ陸行スルモトス 二、後備歩兵第四十六聯隊ハ門司ヨリ乗船シ第十師團ニ屬スルモトス 三、艦装ノ景況ニ依リ碇泊場司令部ニ於テ配船ヲ變更スルコトアリ 四、船舶ノ歸航次第乗船出帆セシムルモトス 五、鉄道提理部ハ塩大澳ニ上陸スルモトス	六二二一	六二六四	三〇〇	三四五五	輜重兵大隊本部	一三	一三	九
	一二	一二	八	一〇	近衛後備騎兵第一中隊	一六八	一七三	一五二
	鐵道提理部	兵站司令部二個	後備馬廠	後備歩兵第四十六聯隊第六中隊	糧食半縱列(小隊欠)	二二二	二二二	一三三
			後備歩兵第四十六聯隊第七中隊			五七六	一三三	二九四
			架橋縱列			二二二	二二二	二九四
	六	二二一	九三					

0297